

リーディングDXスクール事業【AIパイロット校】

大分県立情報科学高等学校

＜校務利用＞ ①第1段階「利活用の情報共有」から第2段階「教員の日常遣いに」～先生の普段遣いが生徒の普段遣いへ～

活用事例集

Episode-1 生徒把握で授業改善

生徒の振り返りの分析
↑授業改善と授業の方向性を決めるため、前の時間との比較による全体把握を行った。約8000字程度の40人の振り返りをまとめ、分析まで行う。生徒の理解度の把握に役立つ。

Episode-4 講師の講座のアンケート作成

外部講師の講座の自己評価や振り返りアンケートを作成。企業から事前にいただいた講座資料を読み込ませて、講座の理解度をはかるため、質問項目を作成。とにかく手軽にできる。時短にはもってこい。しかも資料をちゃんと読み込んでくれるので、質問も的確でした。

Episode-2 演習問題や確認テストの作成

以前はプロンプトにこだわりすぎて時間をかけていたが会話をするように短文で入れても出てくる。ただし、教科書にない用語や意図に沿わない部分があるので必ず自身で再構成。テストは問題と解答の精度と質も十分。時間を区切った中で個別学習させ、各自で確認テストを作成して理解度のチェックに活用

Episode-5 大量データの作成

データを扱う授業では処理するデータを大量に準備する必要がある。それを生成AIに作成してもらう。これらは人間の作業では膨大な時間がかかる。でも簡単にできて、生徒の実習で使えるデータだった。プロンプトをしっかりとしないと偏ったデータになることもある。

Episode-3 文章の作成や校正

保護者への案内文書・・・文書の大半を一瞬で作成できました。付け加えたのは、時候の挨拶文くらい。外部へ提出する書類・・・こちらが考えた文章を手直してもらい、それをもとに更にこちらで手直して完成させた。

Episode-6 授業案の参考あれこれ

・女子高生のペルソナと男性サラリーマンのペルソナの設定。
・「Excelで高度な関数の引数を考えるための簡単な問題を作成。
・モル計算(g→個数などmolを使う計算)の問題を投げかけた
・企業情報、製品の特徴などをたリュックサックの製品イメージ(画像)

スプレッドシートで共有

活用事例	活用内容	活用効果
① 生徒の振り返り分析	生徒の振り返り分析を行うことで、授業の方向性を決める。	約8000字程度の40人の振り返りをまとめ、分析まで行う。
② 演習問題や確認テストの作成	生成AIを活用して、演習問題や確認テストを作成する。	以前はプロンプトにこだわりすぎて時間をかけていたが、会話をするように短文で入れても出てくる。
③ 文章の作成や校正	生成AIを活用して、保護者への案内文書や外部へ提出する書類を作成する。	保護者への案内文書の大半を一瞬で作成できた。
④ 講師の講座のアンケート作成	生成AIを活用して、講師の講座のアンケートを作成する。	企業から事前にいただいた講座資料を読み込ませて、講座の理解度をはかる。
⑤ 大量データの作成	生成AIを活用して、大量のデータを作成する。	データを扱う授業では処理するデータを大量に準備する必要がある。
⑥ 授業案の参考あれこれ	生成AIを活用して、授業案の参考資料を作成する。	女子高生のペルソナや男性サラリーマンのペルソナの設定など。

公開開始から現在まで70以上のアイデアが寄せられる。すべての先生が常に見ることができ、「やってみた」「進化させてみた」の声が続々寄せられるようになった

職員研修で共有



やって楽しい。楽になるがモットー

情報活用スタッフの情報提供



全職員の広がりへ